☺「福岡市　子どもと本の日」通信　Ｎｏ．236　　令和６年11月23日

福岡市総合図書館『こども図書館』リニューアル

市政だよりにも掲載されましたが、総合図書館「こども図書館」が、10月にリニューアルしました。

子どもたちに、もっと楽しく絵本に触れてもらおうと、「えほんのひろば」を拡充し、保護者の方々には、読み聞かせをしやすい環境を整えています。さらに、子どもたちが自分で本を読んだり、「調べ学習」を行ったりできるように、読書と調べ学習のスペースも広げました。

えほんひろば

読書と学習のスペース

また、「こども図書館」では、子どもたちには、「本を読む楽しさを感じてほしい。」と、保護者の方々には、子どもたちの発達段階に応じて「こんな本を読んであげてほしい。」という２つの思いのもと、さまざまな展示コーナーを設けたり、定期的にお話し会を開催したりしています。

さらに、総合図書館「こどもとしょかん」には、世界の絵本コーナーもあります。国際都市「福岡」には、日本語を母語としない方々も数多く住んでいらっしゃいます。「こどもとしょかん」では、７０か国・地域、６７３１冊の絵本をそろえ、多数の言語に対応しています。総合図書館のホームページより言語区分別に、絵本を検索できます。機会がありましたら、ご利用ください。

みなさまのご来館、ご活用をお待ちしています。是非、一度足をお運びください。

『こども図書館』世界の絵本コーナー

福岡市総合図書館では、様々な国で出版された外国語の絵本を集めています。その中には、世界各国で著名な賞を受賞した絵本やアジアの絵本がたくさんあります。

絵がお話を語ってくれる絵本は、言葉がわからなくても、ストーリーを想像し、その国の文化に触れることができます。絵本で国際交流するも楽しいのではないでしょうか。

蔵書している外国の絵本の数
・・・・　6,７３１冊
蔵書している絵本の国の数
・・・　７０か国・地域

アジア	・・・	25 か国
オセアニア	・・・	2か国
北アメリカ	・・・	6か国
南アメリカ	・・・	4か国
ヨーロッパ	・・・	26 か国
アフリカ	・・・	7 か国

第 6 回高等学校ビブリオバトル福岡県大会結果

１０月２７日　第６回高等学校福岡県大会が行われました。予選を勝ち抜いた４人によって決勝戦が行われ、チャンプ本に選ばれた福岡工業大学附属城東高等学校　鉦打　柾さんが、全国大会に出場することになりました。活躍を楽しみにしています。

＜決勝戦出場者と本＞

福岡工業大学附属城東高等学校　鉦打　柾さん
チャンプ本　「100 日後に別れる僕と彼」　著者:浅原　ナオト　出版:KADOKAWA
福岡県立筑前高等学校　加藤　史悠さん
準チャンプ本　「天使と悪魔のシネマ」　著者：小野寺 史宜　出版：ポプラ社
福岡県立小郡高等学校　宮園　真緒さん
「アルジャーノンに花束を」　著者：ダニエル・キイス　出版：早川文庫 NV
福岡大学附属大濠高等学校　吉田　緑莉子さん
「わたしを離さないで」　著者：カズオ　イシグロ　出版：早川書房

「霜月」11 月も半ばを過ぎ、街は冬の様相となりました。山茶花も咲き、冬はそこまで来ています。
秋には、読書週間の取り組み等、子どもの読書活動推進に努めていただきましたことに感謝申し上げます。年末は、何かと気ぜわしくなりますが、12 月も、時間を作り、本に親しみたいものです。
＜須藤＞

１２月の　こと と 人

12.14　南極の日

1911 年10月 20 日にノルウェーの探検家ロアール・アムンセンは、南極大陸のフラムハイム基地を出発し、4台の犬ぞりを52 頭に引かせて南極横断を開始。1911 年のこの日、世界で初めて南極点に到達を果たした日である。

12.21　回文の日

日付の 12 月 21 日の「1221」が回文のようになっていることから「回文俳句」などを手がける宮崎二健氏が制定。

回文は「磨かぬ鏡」「竹藪焼けた」など、言葉遊びとして古くからいくつもの例がある。英語では「palindrome」（パリンドローム）ともいいます。

いわさき　ちひろ

（1918.12.15～1974.8.8）

福井県生まれ。子供の水彩画に代表される日本の画家、絵本作家。1956 年、福音館書店の月刊絵本シリーズ『こどものとも』12 号で、小林純一の詩に挿絵をつけて『ひとりでできるよ』を制作、これが初めての絵本となった。また、ちひろの没後も、ちひろの挿絵は様々な場面で用いられた。そのひとつに 1981 年の『窓ぎわのトットちゃん』などがある。

谷川　俊太郎

（1931.12.15～2024.11.13）

東京都生まれ。日本の詩人、翻訳家、絵本作家、脚本家。高校卒業後、詩人としてデビュー。1952 年に第一詩集『二十億光年の孤独』を刊行。以後、幅広く活躍。1975 年日本翻訳文化賞、1988 年野間児童文芸賞、1993 年萩原朔太郎賞を受賞。絵本作品に『ことばあそびうた』、『もこもこもこ』翻訳では『スイミー』などが有名である。

浅田　次郎

（1951.12.13～　　）

東京都生まれ。1991 年、『とられてたまるか!』でデビュー。『地下鉄に乗って』で吉川英治文学新人賞、『鉄道員（ぽっぽや）』で直木賞を受賞。時代小説の他に『蒼穹の昴』、『中原の虹』などの清朝末期の歴史小説も含め、『壬生義士伝』や『プリズンホテル』など、映画化、テレビドラマ化された作品も多い。

開高　健

（1930.12.30～1989.12.9）

大阪府生まれ。日本の小説家。組織と人間の問題を扱った小説『パニック』や『裸の王様』、ベトナム戦争取材の体験をもとにした『輝ける闇』などが有名である。また趣味の釣りで、世界をめぐった体験をエッセイとした『フィッシュ・オン』『オーパ!』なども知られている。

図書館員のひみつの本棚　第 223回

　今月は、「タータンチェック」についての絵本を紹介します。

『すてきなタータンチェック　たくさんのふしぎ傑作集』奥田　実紀／文　穂積　和夫／絵
福音館書店（2021 年）￥1300（税別）

＜お勧め年齢＞
乳幼児☆☆☆　小低学年☆☆☆　小中学年★★★　小高学年★★☆　中学生★★☆
高校★★☆　一般★☆☆
（★が多い年齢の子どもにお勧めです）

＜本の紹介＞
　幼い頃に大好きだったタータンチェックに、愛読書を通して再び出会った事で、タータンへの興味が膨らんだ作者。タータンの歴史を追って、実際にプリンス・エドワード島、スコットランドへ向かうことで、タータンをとりまく歴史や背景、種類、柄の持つ意味など、奥深いタータンの世界を知ることになります。最後に作者が、読者（小学３年生）をイメージしてデザインしたオリジナルタータンは、実際にスコットランドタータン登記所に認定され、正真正銘の由緒正しいタータンになりました。その美しさにもうっとりしてしまいます。

＜子どもに手渡す時のポイント＞
　色とりどりのイラストや、タータンのパターンの数々は、ページをめくるだけでもわくわくすることでしょう。タータンに興味のない子どもでも、わかりやすい説明とイラストで、知らないことを知る喜び、楽しさを味わえる一冊であるとともに、好きな事や疑問を調べ、明らかにしていくという過程の面白さも伝えることのできる一冊になっています。

このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店に置いてあります。ぜひ手にとってみて下さい。